



新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、これまで経験したことのない「始まりの春」となりましたが、79名の新入生を迎えて、令和2年度大里小学校は、538名の児童の学び舎としてスタートします。

本校は、明治6年二日市場村の東光寺を仮校舎に、「厚生館」と号して開校し、147年目を迎えた歴史と伝統ある学校です。本年度も保護者の皆様や地域の皆様のご支援とご協力をいただきながら、校庭の『厚生』の碑に託された、豊かで健やかに学ぶ子どもたちを育てる学校づくりに全力で取り組んでまいります。

子どもたちにとって、毎日楽しく通えることのできる学校。保護者にとって、自分の子どもをこの学校に入れてよかったと思える学校。地域にとって、この学校が地域にあってよかったと思える学校。教職員にとって、この学校で働いてよかったと思える学校。そんな学校をめざしていきたいと思っています。

本校教育の更なる発展のために、ご支援、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

校長 長谷川 和典

◇ 学校教育目標

本校の求める教育は、「知」の定着と深化・「徳」の意識化と実践化・「体」の日常化の調和のとれた児童の育成にあります。そのため、今年度も次のような学校教育目標を設定し、それが達成できるような様々な教育活動を展開していきます。

夢に向かって のびゆく 大里の子

- 「知」の定着と深化 (確かな学力) ○「徳」の意識化と実践化 (豊かな心と社会性) ○「体」の日常化 (健康と体力)

【めざす児童像】

- 進んで学習する子ども
- 思い遣りのある子ども
- 心身ともに健康な子ども

【めざす学校像】

- 子どもの夢と自尊心を育てる学校
- 子どもの意欲と成長を示せる学校
- 安全・安心で美と潤いのある学校
- 家庭・地域と歩む信頼される学校

◇ 学校経営のテーマ

『一人一人の笑顔が輝く学校に』

～すべての教職員で すべての子どもたちを育てる～

学校は子どもたちが学び、育つ場である。できなかったことができるようになる喜び。新しいことを知り、わかる喜び。また新たな友達と出会い、豊かな人間関係を育む喜び。子どもたちにとって日々の生活が様々な喜びにあふれ、笑顔輝く学校でありたい。そのためにも、教育目標の実現に向けて、教職員一人一人が自らの資質と能力・特性を十分に発揮し、その英知を結集し、一致協力して学校教育活動を推進する。

◇ 学校経営方針の柱

- 1 生きる力をはぐくむ教育課程の編成と実施
- 2 確かな学力の育成
- 3 思い遣る心・豊かな人間性をはぐくむ心の教育の充実
- 4 健康・安全への実践力を高める健やかな体の育成
- 5 家庭や地域に信頼される学校づくりの推進
- 6 専門性・指導力を高める質の高い教職員集団